

# 第23回九州地区小学生ディベート大会 大会要項

## 主催

全国教室ディベート連盟九州支部 クランポンスクール

## 共催

熊本マリスト学園

## 後援

熊本県教育委員会・熊本市教育委員会(申請予定)

## 目的

ディベートの普及を通して、議論の文化を育むこと

## 日時

平成29年10月9日(月祝)10:00～16:00

## 会場

熊本マリスト学園中学校・高等学校(熊本県熊本市東区健軍2丁目11-54)

## 部門名

ジュニアクラス(小学校3～4年生対象、ただし希望する場合は1年生、2年生の参加を認める)

ミドルクラス(小学校5～6年生対象)

どちらも、引率者を必要とする。

## 論題

小学生の生活にまつわる身近な論題を当日発表

「〇〇は〇〇すべきである。是か非か」のような政策論題のかたちをとる。

## 日程

10:00 受付開始

10:30 開会式

10:50 アイスブレイキング

11:20 「意見発表」の準備

12:30 昼食休憩、交流会

13:00 組み合わせ抽選、「反論」の準備

13:30 予選

15:20 決勝戦

15:45 閉会式・結果発表

## 参加申込

### (1) 申込方法

電子メールにてお申込みください。その際、末尾に記載の必要事項をご記入ください。電子メールが不可の場合、郵送・FAXでも受け付けます。

受付期間 平成 29 年 10 月 3 日(火)必着

〒860-0025 熊本県熊本市中央区紺屋町 1-1-1 東雲ビル 1F  
クランポンスクール 気付 全国教室ディベート連盟九州支部事務局  
e-mail: nade-q@fl.main.jp Tel: 096-247-6122 Fax: 096-352-4751

(2) 本年は、個人申込となります。クラス等でまとめてお申込の場合は、上記事務局へご相談ください。

(3) 同一の団体から多数の申込があった場合、調整を依頼することがあります。

### 審判について

全国教室ディベート連盟所属の審判が主審を担当し、議論教育に関心をお持ちの方々、協賛団体の方々など関係者が副審を担当します。

### その他

(1) 事前の準備は不要です。当日、準備時間を設けますので、初めての児童でも参加が可能です。筆記用具、昼食をご持参ください。

(2) 参加及び参観ともに無料です。

(3) 予選の試合数は、お申込み人数に応じて調整いたします。詳細については、10月5日(木)を目処に参加者へメールにて連絡します。

参加申込(下記の事項を記載のうえ、電子メールにてお申込みください。)

- 参加児童氏名(ふりがな)
- 学校名
- 学年
- 引率者氏名(ふりがな)
- 参加児童と引率者の関係
- 連絡先電話番号
- 連絡先メールアドレス
- チーム編成に関する希望(「ルール細則」を参照してください)

メール送信先: nade-q@fl.main.jp

# 九州地区小学生ディベート大会ルール

平成 29 年 9 月 17 日改訂

## 1 論題

本大会は、小学生自身が考察すべき、生活にまつわる身近な論題を扱います。論題は大会当日に発表します。

## 2 フォーマット

ディベートの流れは下のようになります。なお、内容を充実させるために、審判による解説を行います。

賛成側意見発表 2分
審判による解説 1分
準備時間 2分
反対側意見発表 2分
審判による解説 1分
準備時間 2分
反対側反論 1分
賛成側反論 1分

## 3 進行

司会者の進行によって発言を行い、決められた時間内に述べます。

## 4 意見発表

(1) 賛成側は、示された論題の実行によって発生するメリットを述べます。反対側では発生するデメリットを述べます。メリット、あるいはデメリットは2つまでとします。

(2) 次の順序で述べることを推奨します。

賛成・反対の立場「わたしは、この論題に(賛成／反対)の立場をとります。」
メリット、デメリットのラベル「…という(メリット／デメリット)があるからです。」
メリット、デメリットが発生する根拠「なぜなら…」
結論「よって、この論題に(賛成／反対)の立場をとります。」

## 5 反論

(1) 反対側は、賛成側意見発表に反対し、メリットが認められないことを述べます。賛成側は、反対側意見発表に反対し、デメリットが認められないことを述べます。

(2) 次の順序で述べることを推奨します。

相手の意見発表の引用「(賛成側／反対側)は～と述べていました。」
主張「しかし、それは違います。」
根拠「なぜなら…」
結論「よって、～すべきです。」

## 6 評価の基準

### (1)意見発表

声量、姿勢などが適切で、審判にとって聴き取りやすい  
構成や言葉遣いが適切で、審判にとって要点がわかりやすい  
審判を説得する根拠が述べられている

### (2)反論

声量、姿勢などが適切で、審判にとって聴き取りやすい  
構成や言葉遣い、サインポスティングが適切で、審判にとって要点がわかりやすい  
審判を説得する根拠が述べられている  
審判の解説を反映している

### (3)試合全体

聴く姿勢が好ましい  
モデルディベートの模倣にとどまらない、オリジナリティがある  
実行したときのメリットが大きい／デメリットが大きい

(4) (1)から(3)の 10 項目について、賛成側、反対側のいずれがよりすぐれているか、審判が判断します。3人の審判がより多くの項目を評価したチームを勝ちとします。

(5) (4)の評価が同点となった場合、「実行したときのメリットが大きい／デメリットが大きい」の項目の評価が高いチームを勝ちとします。

(6) (5)の評価も同点の場合、主審の評価を優先します。

### ルール細則

(1) 大会の出場選手は 1～2 名とします。出場申し込み、どちらを希望するのか明記してください。

(2) 1 名で出場の場合は、意見発表と反論を同一の児童が続けて担当するものとします。

(3) 2 名での出場の場合は、意見発表を前半の 1 分間、後半の 1 分間と分けて担当するものとします。反論は 2 名が自由に発言してよいものとします。

(4) 共に出場することを希望する選手がいる場合は、出場申し込みの際にその旨を記載してください。

## 第 23 回九州地区小学生ディベート大会に参加するみなさまへ

昨年まで 22 年間佐賀市で開催していた当大会を、今年度から熊本市で開催することとなりました。そのご報告が遅くなりましたことを、おわびいたします。

この大会は、全国教室ディベート連盟が主催する「全国中学・高校ディベート選手権」(ディベート甲子園)より 1 年早い 1995 年に生まれました。高校生以下の現存する日本語ディベート大会としては、最も古いものではないでしょうか。時代や参加者のニーズに合わせてルールや論題を変えながら、これからも長く親しまれる大会として続けていくことができるよう、スタッフ一同努力してまいります。

なお、共催、会場提供の熊本マリスト学園は、第 20 回「全国中学・高校ディベート選手権」高校の部で全国優勝、第 22 回大会中学の部で全国ベスト 8 と華々しい実績を残しており、九州地区のディベート教育の中心地といっても過言ではありません。熊本マリスト学園の先生方、保護者の皆様のご理解ご協力に感謝します。

続いて、ルール改変にあたり、参加者のみなさまにご注意いただきたい点を説明します。

「3 つの ING」を大切に、わかりやすい議論に努めてください。3 つの ING とは「ラベリング」「ナンバリング」「サインポストイング」のことです。

(1) 「ラベリング」は、論点の題名(ラベル)をつけることです。ある論点について説明する際に、冒頭にその論点を簡単にまとめたものを提示するとよいでしょう。例えば、このラベルは「3 つの ING」です。

(2) 「ナンバリング」は、いくつも論点がある際に、番号(ナンバー)をふってわかりやすくすることです。例えば、ここでも(1)~(3)の番号をふっています。

(3) 「サインポストイング」は、論点の指差し確認です。反論では、「賛成側意見発表が…と言っていた点についての反論です。」など、相手の主張を引用します。

この大会には、先に述べた「全国中学・高校ディベート選手権」等、各種ディベート大会に将来挑戦することになるディベーターの入口としての役割を期待します。そのため、「全国中学・高校ディベート選手権」が採用している「メリットとデメリットのどちらが大きいかによって勝敗を決する」という基準を大切にします。

また、評価項目の一つではないものの、意見発表から反論まで終始一貫した立場をとるべきです。将来挑戦するディベート大会では、新しい論点の追加(ニューアーギュメント)が禁止されているためです。

今年、「全国中学・高校ディベート選手権」九州地区大会で優勝した熊本市立出水中学校チーム(2 年連続全国大会予選通過)は、2 年前の小学生大会に出場した男子児童が中学校に進学し、友人に声をかけて作ったチームです。「ディベートを続けていきたい」「もっと勉強したい」という方は、気軽に連盟のスタッフにお声かけください。

平成 29 年 9 月 8 日

全国教室ディベート連盟九州支部 スタッフ一同